

同種造血細胞移植後の血小板減少症に対する Eltrombopag の 有効性、安全性に関する単施設後方視的解析

研究対象:

2011年11月1日～2015年10月31日に国立がん研究センター中央病院で同種造血細胞移植の血小板減少症に対し Eltrombopag を投与した患者さんです。

研究の概要:

国立がん研究センター中央病院で経験した同種造血細胞移植後の血小板減少症に対し、Eltrombopag を投与した患者さんの治療成績、治療効果予測因子、治療後の合併症を国立がん研究センター中央病院単一施設の後方視的コホートにて明らかにし、同種造血幹細胞移植後の血小板減少症の治療成績の向上に役立つエビデンスを確立します。

研究の意義:

今回の研究結果は同種造血細胞移植後の重要な合併症である血小板減少症に対するより良い治療戦略を確立するための一助になると考えます。

目的:

国立がん研究センター中央病院で経験した同種造血細胞移植後の血小板減少症に対し、Eltrombopag を投与した患者さんの治療成績、治療効果予測因子、治療後の合併症を検討します。

方法:

患者さんの背景、移植方法、血小板減少症の原因、輸血頻度、Eltrombopag の投与量・投与期間などの詳細及び治療成績について診療録を調査し情報収集を行います。いずれの情報もカルテにすでに含まれているもので、この研究のために新たに患者さんに検査を行うものではありません。

個人情報保護に関する配慮:

データベースの情報はこの研究のために新たに割り振られた研究番号を用いて管理されており、個人情報が公表されることはいかなる形でもありません。後方視的に過去の診療録を調査する際には、個人情報が特定されないやり方で情報を収集します。また、このホームページにおいて本研究を実施することについて公開し、問い合わせ等に応じます。患者さんからのご希望があれば、その方のデータは研究に利用しないように配慮いたします。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科
稲本 賢弘 (研究責任者)

〒 104-0045 東京都中央区築地 5 丁目 1-1

電話番号:03-3542-2511(内線 7058)/FAX 番号:03-3547-5228